

令和6年 6月25日

長野県知事 阿部 守一 様

令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和6年度から令和7年度	
会社名	株式会社 宮坂組	
住所	〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村40番地1	
代表者名	代表取締役 宮坂 義広	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務経理部	
担当者名	冨澤 美穂	
連絡先	TEL	0265-73-7222
	FAX	0265-73-7223
	電子メールアドレス	main_office@miyasakagumi.com
ホームページアドレス	'http://www.miyasakagumi.com	

1 産業廃棄物3R実践方針

当社は「自然環境を守り、次世代へ伝えていく企業」を目指しています。そのために事業活動及び製品（現場）等あらゆる面において、環境負荷低減に取り組めます。社員への教育や研修等を定期的実施し、方針や関係規則の周知を行います。現場では、着手前に産業廃棄物の処理計画を立案し、数値確認を行い3Rについて目標値を定め管理します。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	2000	3,047	1,948	1,039
リサイクル量の推	2000	3,018	1,911	926

移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)				
上高の推移 (円)	1,500,000,000	95,762,349	1,134,787,234	1,649,458,193

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

各現場にて、リサイクル製品の使用及び産業廃棄物処理について、環境負荷低減を踏まえて着工前に立案する。

施工途中に発生した産業廃棄物の分別を徹底し、混合廃棄物の削減に取り組む。

道路工事や河川工事等で発生する土砂は、発注者と協議のうえ、他工事や造成工事の盛土材として流用し、廃棄量の削減に努めている。

橋梁補修工事では、既設の橋面舗装版撤去の際、橋面防水部分はリサイクルが不可となる為、撤去作業を2回に分けて行い、舗装版全数が廃棄物とならないようにしている。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品(材料)使用量／全体材料使用量(%)

製品(材料)種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
再生砕石	100%	100%	100%	100%
再生アスファルト	100%	100%	100%	100%

全 体	100%	100%	100%	100%